

1. プロジェクトのタイトル

新型コロナウイルスが社会に与えた影響に関する JHPS 特別調査

2. 研究者名・所属・連絡先メール

慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センター 特別調査ワーキンググループ

リーダー: 山本勲, 慶應義塾大学, yamamoto@fbc.keio.ac.jp

メンバー: 樋口美雄, 慶應義塾大学, higuchi@fbc.keio.ac.jp

石井加代子, 慶應義塾大学, ishiikayoko@keio.jp

石野卓也, 金沢星陵大学, ishino@seiryu-u.ac.jp

大垣昌夫, 慶應義塾大学, mogaki@econ.keio.ac.jp

大久保敏弘, 慶應義塾大学, okubo@econ.keio.ac.jp

隅田和人, 東洋大学, sumita@toyo.jp

陳マテウス, 慶應義塾大学, mchang.keio@gmail.com

直井道生, 慶應義塾大学, naoi@econ.keio.ac.jp

長須美和, 慶應義塾大学, mnagasu555@gmail.com

3. プロジェクトの目的と研究方法 (research design) の要約

本プロジェクトでは、同一個人を追跡調査した「日本家計パネル調査 (JHPS/KHPS)」の対象者約 5,000 人を対象に、新型コロナウイルス感染症の流行が家計に与える影響を把握すべく、定例調査 (毎年 2 月頃) とは別に特別調査を実施する。未知の感染症による脅威が人々の生活にどのような影響を与えているのか、行動や不安・心理状態・考え方をどう変化させているのか、社会的資本や政府・自治体の政策のニーズや効果はどのようになっているのか、といった点を迅速に把握し、社会経済に与えた影響を検証するとともに、必要な政策を提言することを目的とする。国際共同プロジェクトにも参画し、国の枠組みを超えて全世界的な研究を進める。特別調査ワーキンググループを結成し、調査票の作成や調査の設計、調査データの解析を遂行する。

4. 利用するデータの説明

本特別調査は、2020 年 2 月に実施した「日本家計パネル調査 (JHPS/KHPS)」の回答者約 5,000 人を対象に、2020 年 5 月末に調査を実施する。調査は、調査員や調査対象者の感染リスクを抑えるため、郵送および WEB 回答による調査法をとる。「日本家計パネル調査 (JHPS/KHPS)」の豊富な情報量とともに、2 月の定例調査では新型コロナウイルス感染症流行直前の対象者の状況を把握することができるため、特別調査と比較することにより、感染症流行前後の変化を把握することができる。

5. 研究プロジェクトの JEL コード

E21 Consumption • Saving • Wealth

- E24 Employment • Unemployment • Wages • Intergenerational Income Distribution
• Aggregate Human Capital • Aggregate Labor Productivity
- I12 Health Behavior
- J20 General (Demand and Supply of Labor)
- J21 Labor Force and Employment, Size, and Structure
- J22 Time Allocation and Labor Supply
- I31 General Welfare, Well-Being
- I32 Measurement and Analysis of Poverty

6. キーワード

COVID-19, パネル調査, 家計, 不平等, 雇用, 健康, 在宅就労, テレワーク, 所得, 消費, 労働時間, 生活時間, 教育, 政策